

#### 第四十七回句会 俳句

##### 【高点句】

- ☆連日の酷暑のニュース父見舞う 〈茂〉  
☆物乞ひの大聖堂の片陰に 〈明美〉  
☆原爆忌語部またも一人逝く 〈眞澄〉  
☆平成の極暑を終う甲子園 〈茂〉  
☆大雨の去りて目覚めの蝉時雨 〈眞澄〉  
☆日が落ちてレジの混み合ふ残暑かな 〈眞澄〉  
☆赤茶けた台地の夏へ着陸す 〈明美〉

##### 【各自一句】

- ・二学期へチョーク黒板整えて 〈郁代〉  
・ペリカンの水掻き疲れ残暑かな 〈明美〉  
・原稿に汗染みいる残暑かな 〈隆司〉  
・台風の行方睨んで旅立てり 〈青蛙〉  
・箸置きてけだるさかこつ残暑かな 〈千恵〉  
・肱川は澄みて鶺舟の戻りけり 〈茂〉  
・ひまわりの炎のごとし残暑かな 〈童心〉  
・したくない喧嘩の朝の残暑かな 〈安津子〉  
・百年後珊瑚が消える残暑かな 〈莫院〉  
・揚羽蝶来てねむの木庭に舞ふ 〈一馬〉  
・蝉しぐれ力を込めて球を打つ 〈雄記〉

\*以上、34句（3句ずつ11名と1句1名）より、選句は13名により4句ずつ

\*高点句は、高得点の句より3句（今回は第1位が同点で2句、第3位が同点で5句）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載）